

鳥獣被害防止総合支援事業及び鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業の評価報告(28年度報告)

事業実施主体名

西臼杵地域鳥獣被害防止広域対策協議会

1 被害防止計画の作成数、特徴等

イノシシ、シカ、サル、カラスを対象(日之影町:アナグマ、アライグマは平成28年度より対象鳥獣)とし、従来からの捕獲対策を行うとともに、集落環境整備による環境づくりや、電気柵や侵入防止ネット、ワイヤーメッシュ柵の共同設置を推進し地域ぐるみでの効率的な対策に取り組むこととしている。

2 事業効果の発現状況

地域の推進体制:平成22年度から、鳥獣被害対策緊急プロジェクトを立ち上げ、各地域に、市町村、JA、NOSAI、森林組合、集落代表者等による「地域鳥獣被害対策特命チーム」を設置するとともに、平成24年度から「鳥獣被害対策支援センター」が設立され、市町村協議会と連携して鳥獣被害対策の取り組んでおり、地域の体制整備が図られている。

捕獲対策:免許取得のための研修会や捕獲講習会を実施し、担い手育成・確保に努めている。また、くりわな等の導入により捕獲個体数が増加しており、捕獲圧が増したことにより、集落に近づきにくい環境が作られ、効果的な個体数管理が行われている。

生息環境対策:放任果樹の除去により、集落をえさ場にしない環境づくりや、雑木林の除去等による緩衝帯の整備により集落と生息域を明確化して野生鳥獣が集落に近づきにくい環境の整備が図られている。

被害防除対策:研修会の開催、追い払い活動の実施等により、地域一体となった取り組みが推進されており、地域住民による自己防衛の意識向上が図られている。

3 被害防止計画の目標達成状況

被害金額と被害面積の両方において、目標達成となった。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績								事業実施主体の評価	都道府県の評価			
										獣種	被害金額				被害面積							
											現状値 (24年度)	目標値 (28年度)	実績値 (28年度)	達成率	現状値 (24年度)	目標値 (28年度)	実績値 (28年度)			達成率		
西臼杵地域 鳥獣被害防止 広域対策協議会	日之影町	26年度	イノシシ シカ サル カラス	・くりわな ・ワイヤーメッシュ柵	141基 14,600m	日之影町 有害鳥獣対策協議会	H26	100%	わな導入による捕獲体制の強化、防護柵の整備及び有害鳥獣捕獲の推進により、野生鳥獣による農作物被害が年々減少している。	イノシシ	42,678千円	29,874千円	4,834千円	296%	26.71ha	18.69ha	3.61ha	288%	被害金額と被害面積の両方において、目標達成となった。野生鳥獣による農作物被害は、近年減少傾向にあり、有害鳥獣捕獲の実績も年々増加しているため、更なる被害防止効果を期待したい。今後も推進事業及び整備事業を利用し、引き続きわなの導入による捕獲体制の強化を図るとともに、防護柵の整備に取り組むことで被害防止活動を推進していく。 また、捕獲については既存の有害鳥獣捕獲班に加えて、鳥獣被害対策実施隊、認定鳥獣捕獲等事業者の制度等を活用し、より効果的な有害鳥獣捕獲を推進していく。 また、本事業により侵入防止柵の設備が継続的に効果を発揮するために、日常的な点検を行っていただきたい。更なる被害軽減のため、集落内において正しい対策の浸透を促すための研修会等を実施していただきたいと考える。	被害金額、被害面積ともに全体としては目標達成となった。 イノシシとシカの被害金額・面積は大幅に減少しており、その要因として鳥獣被害防止総合対策交付金を活用した有害鳥獣の捕獲体制の強化や侵入防護柵の整備が一因と考えられる。		
										シカ	25,069千円	17,548千円	4,846千円	269%	12.53ha	8.77ha	1.87ha	284%				
										サル	1,859千円	1,301千円	0千円	333%	1.30ha	0.91ha	0.00ha	333%				
										カラス	996千円	697千円	293千円	235%	0.20ha	0.14ha	0.05ha	250%				
										アナグマ	—	—	202千円	#VALUE!	—	—	0.07ha	#VALUE!				
										アライグマ	—	—	0千円	#VALUE!	—	—	0.00ha	#VALUE!				
	五ヶ瀬町	27年度	イノシシ シカ サル カラス	・くりわな ・ワイヤーメッシュ柵	100基 17,100m	日之影町 有害鳥獣対策協議会	H27	100%	わな導入による捕獲体制の強化、防護柵の整備及び有害鳥獣捕獲の推進により、野生鳥獣による農作物被害が年々減少している。	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			#DIV/0!	
										#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!
										#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!
										#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!
										#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!
										#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			#DIV/0!	#DIV/0!
五ヶ瀬町	26年度	イノシシ シカ サル カラス	・くりわな ・金網柵 ・ワイヤーメッシュ柵 ・電気柵 ・鹿ネット	29基 12,750m 9,088m 29,342m 7,900m	五ヶ瀬町 有害鳥獣対策協議会	H26	100%	わな導入による捕獲圧の維持と、防護柵整備に伴う圃場への侵入防止により、鳥獣被害に強い環境整備が図られた。	イノシシ	30,163千円	21,114千円	10,020千円	223%	14.04ha	9.82ha	4.66ha	222%	有害捕獲の推進と防護柵の整備によりシカ・イノシシの被害面積・被害金額は大幅に減少した。しかしながら、依然として高い被害水準であるため、引き続き有害捕獲の支援を行い、捕獲圧を維持する。併せて、防護柵整備要望地区の解消と、整備済地区においては維持管理の重要性や集落点検への啓発を行い、持続的・自主的な鳥獣被害対策への意識醸成を図る。				
									シカ	65,818千円	46,072千円	12,025千円	272%	25.62ha	17.93ha	7.67ha	233%					
									サル	11,924千円	8,346千円	2,955千円	251%	2.26ha	1.58ha	0.16ha	309%					
									カラス	150千円	105千円	116千円	76%	0.01ha	0.005ha	0.03ha	-400%					
									#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			#DIV/0!		
									#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			#DIV/0!		
五ヶ瀬町	27年度	イノシシ シカ サル カラス	・くりわな ・金網柵 ・ワイヤーメッシュ柵 ・電気柵	132基 3,246m 3,353m 10,699m	五ヶ瀬町 有害鳥獣対策協議会	H27	100%	わな導入による捕獲圧の維持と、防護柵整備に伴う圃場への侵入防止により、鳥獣被害に強い環境整備が図られた。	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				
									#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
									#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
									#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
									#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
									#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
									合計	178,657千円	125,057千円	35,291千円	267%	82.67ha	57.85ha	18.12ha	260%					

注:被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。
達成率(%)=(基準年-実績値)/(基準年-目標値)×100

5 第三者の意見

コメント
これまでの侵入防止柵の整備と合わせた捕獲対策の強化により、シカ、イノシシについては目標の達成に至っている。しかし、依然として水稲、野菜、飼料作物を中心に被害が大きいことから、更なる被害軽減のためには、これまでの防護柵の設置や捕獲対策に加え、「無自覚の餌付け防止」や「守れる集落づくり」、集落の環境整備、防護柵等の設置および維持管理、サルに対する追い払い等を含めた、総合的な被害対策の啓発を行い、集落の自己防衛意識を向上させることが必要である。(農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー 岩佐宏登)